# 平成21年5月期 第2四半期決算短信（非連結）

平成21年1月9日

上場会社名　株式会社 エムビーエス　　上場取引所　福
コード番号　1401　URL　http://www.homemakeup.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）山本 貴士
問合せ先責任者　（役職名）管理部長　（氏名）徳永 昌裕　TEL　0836-37-6585
四半期報告書提出予定日　平成21年1月13日

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成21年5月期第2四半期の業績（平成20年6月1日～平成20年11月30日）

### (1) 経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年5月期第2四半期 | 404 | ― | 6 | ― | △76 | ― | △76 | ― |
| 20年5月期第2四半期 | 803 | 113.7 | 28 | 27.7 | 9 | △72.8 | △6 | △129.6 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年5月期第2四半期 | △12,383.97 | ― |
| 20年5月期第2四半期 | △1,145.46 | ― |

### (2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年5月期第2四半期 | 902 | 257 | 28.5 | 41,516.41 |
| 20年5月期 | 1,026 | 333 | 32.5 | 53,900.38 |

（参考）自己資本　21年5月期第2四半期 257百万円　20年5月期 333百万円

## 2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| （基準日） | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年5月期 | ― | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |
| 21年5月期 | ― | 0.00 | ――― | ――― | ――― |
| 21年5月期（予想） | ――― | ――― | ― | 0.00 | 0.00 |

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

## 3. 平成21年5月期の業績予想（平成20年6月1日～平成21年5月31日）

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 962 | △12.6 | 125 | ― | 48 | ― | 32 | ― | 5,165.46 |

（注）業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　有
　[（注）詳細は、3ページ［定性的情報・財務情報等］　4.その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
　① 会計基準等の改正に伴う変更　有
　② ①以外の変更　有
　[（注）詳細は、3ページ［定性的情報・財務諸表等］　4.その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数（普通株式）
　① 期末発行済株式数（自己株式を含む）　21年5月期第2四半期 6,195株　20年5月期 6,195株
　② 期末自己株式数　21年5月期第2四半期 ―株　20年5月期 ―株
　③ 期中平均株式数（四半期累計期間）　21年5月期第2四半期 6,195株　20年5月期第2四半期 5,245株

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
　当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1．　経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱に加え、急激な円高の進行や株価下落等が企業収益や個人消費を圧迫し、景気悪化が強まる状況で推移しております。

このような経済・業界動向のもと、弊社はホームメイキャップ工法をコア技術とし、新しい仕組みの建築・リフォーム業界への市場浸透活動を行い、販売チャネルである既存パートナー企業との協働した営業活動及び新規のパートナーの開拓活動を引き続き積極的に展開してまいりました。

更に、ＦＣや販売代理店をネットワーク化した営業展開も視野に入れ、体制を整備してまいりました。

一方、欧米の金融不安による政策金利の引き下げなどにより、更なる円高が進んだことで、通貨スワップ取引は、引き続き影響を受けております。

これらのことにより当第２四半期累計期間の売上高は天候不順における完工のズレが生じたため404,351千円となりました。また、これに伴い営業利益は6,615千円、経常損失はデリバティブ評価損87,527千円、為替差損13,980千円の計上により76,215千円、四半期純損失は76,718千円となりました。

2．　財政状態に関する定性的情報

（１）資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して124,399千円減少し、902,336千円となりました。主な要因は、現金及び預金151,629千円の減少、完成工事未収入金33,300千円の増加、受取手形16,505千円の増加等によるものであります。

（負債）

当第２四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して47,680千円減少し、645,142千円となりました。主な要因は、デリバティブ債務87,527千円の増加、１年以内返済予定の長期借入金17,250千円の減少、長期借入金37,631千円の減少等によるものであります。

（純資産）

当第２四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較し利益剰余金が76,718千円減少し、257,194千円となりました。

（２）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ155,777千円減少し、244,194千円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は100,966千円となりました。これは、主に税引前四半期純損失76,150千円、売上債権の増加額50,393千円、たな卸資産の増加額13,199千円、仕入債務の増加額12,378千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は12,789千円となりました。これは、主に定期預金の預け入れによる支出8,171千円、出資金の分配による収入10,000千円、有形固定資産の売却による収入9,702千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は54,882千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出54,882千円によるものであります。

3．　業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年7月16日に公表いたしました平成21年5月期の業績予想を下記の通り修正致しました。

なお、詳細は平成21年1月8日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

平成21年5月期通期業績予想（平成20年6月1日～平成21年5月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（A）（平成20年7月16日発表） | 百万円 868 | 百万円 45 | 百万円 65 | 百万円 31 | 円 銭 5,004 04 |
| 今回修正予想（B） | 962 | 125 | 48 | 32 | 5,165 46 |
| 増減額（B－A） | 94 | 80 | △17 | 1 | － |
| 増減率（%） | 10.8 | 177.8 | △26.2 | 3.2 | － |
| （ご参考）前期実績（平成20年5月期） | 1,101 | △9 | △43 | △60 | △10,679 31 |

なお、上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

4．　その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産については、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会　平成18年7月5日　企業会計基準第９号）を当第１四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更にともなう損益の影響はありません。

## 5．【四半期財務諸表】

### （1）【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

| | 当第2四半期会計期間末<br>(平成20年11月30日) | 前会計年度末に係る<br>要約貸借対照表<br>(平成20年５月31日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 277,133 | 428,763 |
| 受取手形 | 22,025 | 5,520 |
| 完成工事未収入金 | 107,846 | 74,546 |
| 売掛金 | 1,163 | 575 |
| 原材料 | 54,985 | 50,408 |
| 未成工事支出金 | 25,313 | 28,442 |
| 仕掛販売用不動産 | 11,750 | ― |
| その他 | 6,733 | 29,412 |
| 貸倒引当金 | △3,631 | △3,289 |
| 流動資産合計 | 503,321 | 614,379 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 127,349 | 130,998 |
| 無形固定資産 | 76 | 96 |
| 投資その他の資産 | | |
| 出資金 | 200,020 | 200,020 |
| その他 | 89,126 | 98,063 |
| 貸倒引当金 | △17,557 | △16,822 |
| 投資その他の資産合計 | 271,589 | 281,261 |
| 固定資産合計 | 399,015 | 412,356 |
| 資産合計 | 902,336 | 1,026,735 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 工事未払金 | 74,456 | 72,784 |
| 買掛金 | 20,083 | 9,376 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 92,538 | 109,789 |
| 未払法人税等 | 812 | 1,185 |
| 完成工事補償引当金 | 10,622 | 7,090 |
| デリバティブ債務 | 124,238 | 36,711 |
| その他 | 30,852 | 126,852 |
| 流動負債合計 | 353,603 | 363,790 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 100,000 | 100,000 |
| 長期借入金 | 186,536 | 224,167 |
| その他 | 5,003 | 4,865 |
| 固定負債合計 | 291,539 | 329,032 |
| 負債合計 | 645,142 | 692,822 |

（単位：千円）

| | 当第2四半期会計期間末<br>(平成20年11月30日) | 前会計年度末に係る<br>要約貸借対照表<br>(平成20年５月31日) |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 185,012 | 185,012 |
| 資本剰余金 | 165,642 | 165,642 |
| 利益剰余金 | △93,459 | △16,741 |
| 純資産合計 | 257,194 | 333,912 |
| 負債純資産合計 | 902,336 | 1,026,735 |

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

（単位：千円）

| | 当第2四半期累計期間<br>(自 平成20年 6月１日<br>至 平成20年11月30日) |
|---|---|
| 売上高 | 404,351 |
| 売上原価 | 290,953 |
| 売上総利益 | 113,397 |
| 販売費及び一般管理費 | 106,782 |
| 営業利益 | 6,615 |
| 営業外収益 | |
| 受取手数料 | 9,982 |
| 出資金運用益 | 10,000 |
| その他 | 4,030 |
| 営業外収益合計 | 24,012 |
| 営業外費用 | |
| デリバティブ評価損 | 87,527 |
| 支払利息 | 4,339 |
| その他 | 14,977 |
| 営業外費用合計 | 106,843 |
| 経常損失（△） | △76,215 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 65 |
| 特別利益合計 | 65 |
| 税引前四半期純損失（△） | △76,150 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 568 |
| 法人税等調整額 | － |
| 法人税等合計 | 568 |
| 四半期純損失（△） | △76,718 |

【第2四半期会計期間】

（単位：千円）

| | 当第2四半期会計期間<br>(自 平成20年 9月１日<br>至 平成20年11月30日) |
|---|---|
| 売上高 | 291,175 |
| 売上原価 | 209,941 |
| 売上総利益 | 81,233 |
| 販売費及び一般管理費 | 56,774 |
| 営業利益 | 24,461 |
| 営業外収益 | |
| 出資金運用益 | 10,000 |
| その他 | 1,052 |
| 営業外収益合計 | 11,052 |
| 営業外費用 | |
| デリバティブ評価損 | 75,906 |
| 支払利息 | 1,997 |
| その他 | 14,487 |
| 営業外費用合計 | 92,391 |
| 経常損失（△） | △56,877 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 65 |
| 特別利益合計 | 65 |
| 税引前四半期純損失（△） | △56,811 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 231 |
| 法人税等調整額 | － |
| 法人税等合計 | 231 |
| 四半期純損失（△） | △57,043 |

## （３）【四半期キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

| | 当第2四半期累計期間<br>(自 平成20年 6月 1日<br>至 平成20年11月30日) |
|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純損失（△） | △76,150 |
| 減価償却費 | 5,087 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 1,077 |
| 完成工事補償引当金の増減額（△は減少） | 3,531 |
| 受取利息及び受取配当金 | △971 |
| 支払利息 | 4,339 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △50,393 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △13,199 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 12,378 |
| その他 | 7,909 |
| 小計 | △106,391 |
| 利息及び配当金の受取額 | 971 |
| 利息の支払額 | △5,093 |
| 法人税等の還付額 | 10,112 |
| 法人税等の支払額 | △565 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △100,966 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △8,171 |
| 出資金の分配による収入 | 10,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △308 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 9,702 |
| 投資不動産の賃貸による収入 | 2,282 |
| 保険積立金の積立による支出 | △717 |
| 短期貸付けによる支出 | △23,000 |
| 短期貸付金の回収による収入 | 23,000 |
| 役員に対する短期貸付金の貸付による支出 | △2,700 |
| 役員に対する短期貸付金の回収による収入 | 2,700 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 12,789 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △54,882 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △54,882 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △12,717 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △155,777 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 399,972 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 244,194 |

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

（１）中間損益計算書

| 科目 | 前中間会計期間<br>（自　平成19年 6月 1日<br>至　平成19年11月30日） |
|---|---|
| 区分 | 金額（千円） |
| Ⅰ　売上高 | 803,729 |
| Ⅱ　売上原価 | 649,963 |
| 売上総利益 | 153,766 |
| Ⅲ　販売費及び一般管理費 | 125,039 |
| 営業利益 | 28,726 |
| Ⅳ　営業外収益 | 9,130 |
| Ⅴ　営業外費用 | 28,277 |
| 経常利益 | 9,580 |
| Ⅵ　特別利益 | 3,476 |
| Ⅶ　特別損失 | 5,986 |
| 税引前中間純利益 | 7,070 |
| 法人税、住民税<br>及び事業税 | 12,890 |
| 法人税等調整額 | 187 |
| 中間純損失 | △6,007 |

## （2）中間キャッシュ・フロー計算書

| | 前中間会計期間<br>（自　平成19年 6月 1日<br>至　平成19年11月30日） |
|---|---|
| 区分 | 金額(千円) |
| Ⅰ　営業活動による<br>キャッシュ・フロー | |
| 税引前中間純利益 | 7,070 |
| 減価償却費 | 2,888 |
| 貸倒引当金の増加額 | 18,125 |
| 工事補償費引当金の増加額 | 7,074 |
| 受取利息及び受取配当金 | △463 |
| 支払利息及び社債利息 | 4,355 |
| 社債発行費 | 1,909 |
| 売上債権の増加額 | △339,271 |
| たな卸資産の減少額 | 353,225 |
| 長期売掛債権の増加額 | △41,180 |
| 未収消費税等の増加額 | 11,868 |
| 仕入債務の減少額 | △307,990 |
| その他 | 31,053 |
| 小計 | △251,333 |
| 利息及び受取配当金の受取額 | 374 |
| 利息の支払額 | △3,079 |
| 法人税等の支払額 | △9,482 |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | △263,520 |
| Ⅱ　投資活動による<br>キャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,579 |
| 保険積立金の積立による支出 | △717 |
| 長期前払費用の支払による支出 | △13,927 |
| 役員に対する短期貸付けによる<br>支出 | △3,000 |
| その他 | △805 |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | △20,028 |

| | 前中間会計期間<br>（自　平成19年 6月 1日<br>至　平成19年11月30日） |
|---|---|
| 区分 | 金額(千円) |
| Ⅲ　財務活動による<br>キャッシュ・フロー | |
| 短期借入れによる収入 | 180,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △157,000 |
| 長期借入れによる収入 | 80,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △16,522 |
| 社債の発行による収入 | 98,090 |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | 184,568 |
| Ⅳ　現金及び現金同等物に係る<br>換算差額 | △1,249 |
| Ⅴ　現金及び現金同等物の増加額<br>（△は減少） | △100,231 |
| Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高 | 147,643 |
| Ⅶ　現金及び現金同等物の<br>中間期末残高 | 47,412 |